

発刊以来、お蔭さまでENGLISH DISCOVERは全国の多くの学校でご採用いただいております。今回の第2号では、執筆していただいた、十文字中学・高等学校の高瀬聡伸先生にインタビューをし、教材誕生の背景や、未来の子どもたちに向けた願いをお聞きました！

## どのような思いを込めて作りましたか？

「英語で言語のロジックを訓練する問題集を作りたい」という思いを込めました。一言でいえば「**脳に汗をかく問題集**」です。

欧米では小学校からタクソミーの思考コードをベースにした思考訓練が始まり、言葉のロジックを徹底的に叩き込まれます。(例: Compare & Contrast, Fact or Opinion, Sequencing, Predicting …)そして中高では、これをベースにエッセイ、ディスカッション、プレゼンなどの訓練と実践が教科横断的に行われます。これらは大学で学問を学ぶ際の必須スキルと言われています。しかし残念ながら日本ではこれらの訓練が圧倒的に不足しています。それ故、優秀な大学生でも、英語のネイティブ話者と対等に議論できない、輪にすら入れないということが起きてしまうのです。このような話題が上ると、今までは日本人の和を重んじる気質や、特殊性として論じられてきました。しかし、多文化協働社会に向かうと考えるなら、「異なる背景を持つ相手に説得力を持って伝える技術」を磨くことが必須条件になります。したがって、そのベースとなる思考訓練を学校教育に明示的に練り込んでいくことが望まれるのです。それを一つの形にしたのが「ENGLISH DISCOVER」です。単なる言葉のクイズやパズルで終わらないように、タクソミーの思考コードを用いて、「**脳のどこを鍛えるのか、どこに汗をかかせたいのか**」をはっきりと「見える化」しました。

分類 - 比較 - 関連 - 矛盾 - 配列 - 置換 - 手順 - 因果 - 具体 - 抽象 - 構造 - 定義  
↑…………思考コード

## 他に、苦勞されたことはありますか？

姉妹本の「ENGLISH SEARCH」のグラマーシラバスに合わせるという縛りがあったことです。テストポイントを文法ではなく、思考コードにする必要があったので、問題を自分で作る時にも、執筆者の先生方の作問を校正するときも、最も苦勞した部分です。このような問題集自体初めての試みですので、「そもそも思考力問題って何?」というところから、先生方と常に共有しながら進めていきました。まさしく私自身が、「**脳に汗をかいた時間**」でした。

## どのような場面で使うことが理想ですか？

やはり授業です。**ペア、グループワークに適した問題が多い**です。ただ、すぐに授業に組み込むことが難しいのも重々承知です。その場合は、長期休暇中の講習教材に、または週末課題として出題し、その課題に関して授業冒頭で、自分や他者の考えを共有する時間が欲しいですね。

日常的な取り組みが鍵なのですね。ここまでのお話で、日本の教育の中で早い段階から「思考力」を磨くことの重要性を教えてくださいました。最後になりますが、今後大学入試が変わっていく中で、思考力を磨くことが、子どもたちの未来にどのように影響すると思いますか？

大学入学共通テストの試行問題で、ようやく思考コードを意識した問題が出題されるようになりました。例えば、

問 4 According to the website, one fact (not an opinion) about this recipe is that it is .

- ① highly ranked on the website
- ② made for vegetarians
- ③ perfect for taking to parties
- ④ very delicious

Fact/Opinionを見分ける問題

問 5 According to the website, one opinion (not a fact) about this recipe is that .

### The Person Who Revolutionized American Journalism

#### ■ The Life of Benjamin Day

Period	Events
1810s	Day spent his childhood in Springfield
1820s	<input type="text" value="27"/>
1830s	<input type="text" value="28"/>
	↓
	<input type="text" value="29"/>
	↓
	<input type="text" value="30"/>
	↓
	<input type="text" value="31"/>



Benjamin Day

Sequencing (順序)を問う問題

出典：大学入試センター

一方、ENGLISH DISCOVERにもかなり連動した問題があります。

次の英文で、事実を述べているものにはFを、意見を述べているものにはOを書きなさい。

- (1) ( ) There is a picture of a flying bird on the wall.
- (2) ( ) The girl sitting on the bench over there looks tired.
- (3) ( ) The man talking with that woman is my brother.
- (4) ( ) A lady named Alice came to my house yesterday.
- (5) ( ) The book written by Soseki is the best book in the world.
- (6) ( ) Children in Japan love the cartoons shown on TV.
- (7) ( ) The girl wearing a red dress at the party was Kelly.
- (8) ( ) This is a song \*composed by J. S. Bach in 1732.



ENGLISH DISCOVER II P.40

akes. They had \*various colors. ee o'clock and walked to Sakura

〜にいた。〜だった



ENGLISH DISCOVER I P.31

- イ We left the zoo at three.
- ウ We watched the penguins.
- エ We saw many frogs and snakes.
- オ We visited Zebra Park.
- カ We ate lunch on the bench.
- ク We went to Sakura Station.

( )→( )→( )→( )→( )→( )

このような、言葉のロジックを理解しているかどうかを問う問題が増えれば、日本人のアカデミックスキルが徐々に上がることに繋がると思います。「ENGLISH DISCOVER」が、その一助となることを心から願っています。

# 活用法調査報告! 使いたいけど時間がない…と思っていた先生! 必見です!

	使用頻度	予定しているペース	タイミング	取り組み方
<b>A中学校</b>	週2時間ある「writing」中心の時間の中で扱う。	1年で16章まで終わらせる。	当該の文法事項を学習した直後に追いかける形で。	一斉授業。その場で各自に解かせ、先生が解説。宿題にして次の授業で生徒に答えさせることも。
<b>B中学校</b>	夏期講習(希望者のみ)全6回。各回で3つの題材を扱う。	冬期講習、春期講習を使って1冊終わらせる。	文法事項は前学年で既習済。	授業中にその場で解かせる。ペア・グループワークも取り入れ飽きが来ないように。
<b>C中学校</b>	英語の授業内(5回に1回くらい)。	1年で半分まで終わらせる。	文法事項は前学年で既習済。	一斉授業。2時間続きの英語の時間に入れて息抜きに。自分で解いた後に隣の人と答え合わせをし、前後の人に説明させる。
<b>D中学校</b>	週5時間の英語の授業のうちほぼ毎回。	1年で教科書の範囲を終わらせる。	当該の文法事項を学習した直後に追いかける形で。	授業の最後の5～10分に解いて隣の人と答えを見合せて議論したあと、指名して前に出て発表。

ENGLISH DISCOVERは一人で集中して考えさせる時間になっています。アレンジを加えてテストにも出題しています。



最近話題になった事柄や教科書で学んだ内容に関連するテーマの文章を選んで取り組ませると盛り上がりやすい。読解にも当該の文法事項がふんだんに盛り込まれているので復習に最適です。



同じ答えでもたどり着き方が異なるので話し合わせる価値があります。説明する力がつくようになります。



この他にも採用校では当該の文法事項を学習した後に本書で追いかけるパターンが多いようです。文法の復習をしながら思考力問題に取り組むことで、「文法の勉強」を意識せず自然に英語を読み込んでいくことが出来るのですね。

弊社営業担当

## 授業の中で扱う際には「教師用資料」もご活用ください!

★ENGLISH DISCOVER I 教師用資料(ご採用の先生に無料でご提供) 授業に組み込む際の目安になります!

章	単元	問題	ページ番号	思考コードor読解ジャンル	解く時間(分)	思考力問題の難易度	グループワークに適しているか/適した人数など
1	I am ~. You are ~.の文	思考力1	2	分類・比較・関連	3	★★	○2
		思考力2	3	比較・矛盾	5	★★★	○4

## <弊社営業担当は見た! ~授業見学レポート~ 千葉日本大学第一中学校>

### ★ENGLISH DISCOVER I P.22

① 4分間で大問2を解かせる(個人ワーク)

② 5分間で隣の人と答えを見せ合い議論(ペアワーク)

答えが分かって喜び拍手する生徒、隣の人にわかるように必死に説明する生徒、図解して何度も考え直す生徒、辞書でわからない単語を調べながら意味を確認する生徒、さまざまでも盛り上がっていました。

③ 選ばれた生徒が前で発表

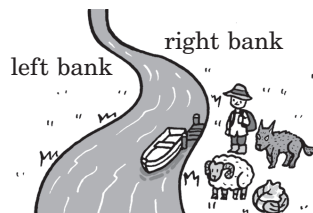
先生が指名した生徒が黒板に図解しながら発表してくれましたが、その時ある生徒が「もう一通りあると思います!」と発言。そこで先生が発表を促すと、別解を前で説明してくれました。(この問題には実際に答えが二通りあります。)

その答えに対して先生が最初に答えてくれた生徒に「こっちは正解?」と聞くと、「これも合っていると思います」と答え、二通りあることが判明。

二人の発表の間、何人もの生徒が「あーそうか!」と言って納得し、問題が解けてすっきりしている様子でした。

2 旅人が狼と羊を1匹ずつ連れて、キャベツ1個を運んでいます。彼はこれから小船で川を渡ります。小船には彼以外に1匹または1個しか乗せられません。さらに、彼がいないと狼は羊を食べてしまい、羊はキャベツを食べてしまいます。狼、羊、キャベツを効率的にすべて運ぶにはどうすればいいですか。旅人への助言を完成させるために、①~⑦に適するものをA~Eから1つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じものを何度使ってもかまいません。

First, take ( ① ) to the left bank. Then go back ( ② ) to the right bank. Second, take ( ③ ) to the left bank. Then go back with ( ④ ) to the right bank. Third, take ( ⑤ ) to the left bank. Then go back ( ⑥ ) to the right bank. Finally, take ( ⑦ ) to the left bank. Have a safe trip!



A the wolf    I the sheep    U the cabbage    E \*alone    [注] alone: ひとりで  
① [    ]    ② [    ]    ③ [    ]    ④ [    ]    ⑤ [    ]    ⑥ [    ]    ⑦ [    ]



弊社営業担当

ENGLISH DISCOVERの見本のお申込みは弊社HPの特集ページからお願いいたします。当記事もHPで公開しております。

